

ともろう通信



No. 29

2021年6月発行

ともろう
共朗生 — 共に朗らかに生きていきたい！

★ともろう通信は、NPO 法人男女共同参画こしがやともろうの機関誌です。

事業：①男女共同参画関係施設受託事業②男女共同参画の推進を担う人材養成事業

③情報提供、調査研究事業④自立支援・相談事業⑤子どものための自立支援事業



第4次越谷市男女共同参画計画実現に向けたSDGsの取り組み

木々の緑が日ごとに色を深めていく昨今、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃、認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう（以下「ともろう」という）に対しましては種々ご支援、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため「みなし総会」となりましたが、令和3年度はコロナウイルスまん延防止対策に留意しながら総会を開催することができました。対面でのやり取りはコミュニケーションを図ることができ、より共通認識が得られたと思います。

さて、第5次越谷市総合振興計画・基本構想（2021～2030年度）・前期基本計画（2021～2025年度）がスタートし、併せて、第4次越谷市男女共同参画計画、第3次越谷市地域福祉活動計画・「第3期越谷市教育振興基本計画」などがスタートしました。

第5次越谷市総合振興計画・基本構想第3章まちづくりの目標では、6つの目標を掲げ「それぞれの目標をSDGs17のゴールと結びつけ、連携させて施策を展開するものとし、総合的かつ計画的なまちづくりを進めます。（文章一部抜粋）」とあり、6つの目標にSDGs17※のゴールを分類し、当てはめています。

※SDGs（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標

第4次越谷市男女共同参画計画においては 主な SDGs に「ジェンダー平等を実現しよう」を始め9つを掲げています。

SDGs の取り組みは社会全体で実践され始めていますが、ともろうの男女共同参画関係施設受託事業において、令和2年度はSDGsについての理解を深める講座を開催したり、情報誌を発行しました。

市民の意識が高まっていく中、今後、ともろうのミッションを達成するためには、コロナウイルスのまん延による様々な影響や、もともと社会改革が予想されていた課題について等、各分野と連携し、ジェンダーの視点をもって進めていくことが大事なことかと思えます。

長引くコロナウイルスまん延防止対策に老舗、小規模かかわりなく閉店のニュースが流れる中「都心でリヤカー急増？」というタイトルとともに、来店客が減ったお店がサンドイッチや弁当などを積んでリヤカーでオフィス街や町中で引き売りをしている画面や、会社を早期退職した人、リタイアした人たちがネットワークを組み新事業に取り組んでいる様子が紹介されました。アイデアで苦境を乗り越えていく人たちを見ることで多くの人に希望を持たせてくれるのではないのでしょうか。

今、コロナワクチンの接種が急ピッチで進められています。地域の学校からは子どもたちの賑やかな声が聞こえ、近くにある文教大学の駅から続く通学路にも徐々に学生の姿が増えつつあります。逆に、近所にあるアルコールを提供する店舗は軒並み休業やテイクアウトの弁当などでしのいでいます。一日も早くコロナウイルスの終息を願うばかりです。

まだまだコロナウイルス感染の不安がある中、会員の皆様におかれましては健康に留意され、益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに、ともろうに対してのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年6月

認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう代表理事 駒崎美佐子

■第4次越谷市男女共同参画計画で掲げる主なSDGs



第4次越谷市男女共同参画計画で掲げる主なSDGs

1. 貧困をなくそう
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
8. 働きがいも経済成長も
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

報告 令和 3 年度 定期総会について

6 月 認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 島津美弥子

認定 NPO 法人 男女共同参画こしがやともろうは、令和 3 年度定期総会を 5 月 31 日（月）に市民活動支援センターで開催し、下記のすべての議案について協議し可決しましたことをご報告いたします。

「総会承認・議決事項」

- | | |
|---------|-------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 2 年度活動報告の件 |
| 第 2 号議案 | 令和 2 年度事業会計収支計算書、監査報告の件 |
| 第 3 号議案 | 令和 3 年度事業計画の件 |
| 第 4 号議案 | 令和 3 年度事業会計予算の件 |
| 第 5 号議案 | 定款変更に関する件 |

(1) 第 3 号議案 事業計画次頁に掲載

- ①七夕フェスタオープニングイベントへの参加はコロナウィルス感染症拡大防止のため中止

(2) 第 5 号議案 定款の変更

【変更の概要】

みなし総会の決議にかかる同意の意思表示方法として電磁的記録を加えた。

【変更した条項】

現行 第 26 条 第 1 項から第 3 項まで略

4 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。



新 第 26 条 第 1 項から第 3 項まで略

4 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面又は電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られる記録であつて、電子計算機による情報処理の用に供されるものとして内閣府令で定めるものをいう。）により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

（参考）

特定非営利活動促進法（第 14 条の 9）

（社員総会の決議の省略）

第十四条の九 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られる記録であつて、電子計算機による情報処理の用に供されるものとして内閣府令で定めるものをいう。）により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

事業の実施に関する事項（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数		支出見 込み額 (千円)
男女共同参画関係 施設受託事業	越谷市男女共同参画 支援センター受託事 業	通期	ほっと越谷	９人	市民 団体	20,000 人	29,400
男女共同参画推進 を担う人材養成事 業	男女共同参画に関す る講師派遣事業	通期	地区センター など	６人	市民	100人	96
情報提供、調査研 究事業	会報誌の発行	年３ 回	事務所	２人	会員 市民	300人	26
	ともろうホームペー ジ運営	通 年	事務所	２人		50人	82
	七夕フェスタオーブ ニングイベント（中 止）	６月	さくら広場 ほっと越谷		市民		0
	埼玉県立大学 東京家政大学 実習生受入れ	５・６月	ほっと越谷	２人	大学 生	10人	20
	男女共同参画推進フ ォーラム	８月	独法）国立女 性教育会館	２人	理事		10
	センター職員と理事 との研修	４月	ほっと越谷	14人	職員 理事		10
	ともろうカフェ	年１ 回	ほっと越谷	２人	理事 市民	40人	34
	ともろう記念誌	３月	事務所	10人	理事	100 人	100
自立支援・相談 事業	ゆったりカフェ	月１ 回	ほっと越谷	３人	市民 理事	50人	52

ともろうによる、東京家政大学の統合実習をほっと越谷で実施しました

～東京家政大学健康科学部看護学科 統合実習 報告～

6月 認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 小野由理

実施日 2021年5月14日(金) 10:00～16:00

実施場所 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

実習参加者 9名

担当 「認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう」 松岡(理事・所長) / 小野(理事)

□実習内容

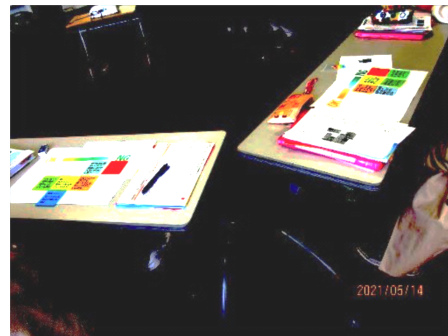
- 1 男女共同参画センターの歴史 講義と施設内見学
- 2 「ほっと越谷」登録団体「LGBT 越谷十人十彩」活動内容について
ゲストスピーカー 辻川さん、山田さん(「LGBT 越谷十人十彩」スタッフ)
岩井紀穂さん(「VISION! ～for transgender」 「草加市 LGBTQ+」代表)
- 3 「越谷市の女性の現状と課題」～越谷市ジェンダー統計、越谷市市政世論調査から
- 4 コロナ下で見た女性の状況など
- 5 「デート DV から見えてくること」

□実習を通して、参加学生からの感想

- ・LGBT の情報を得ていても当事者の思いはわからなかった。DV では、医療者として気づけたこともあるので、気づいて専門機関につなげることができればいいと思った。
- ・コロナ下でどのような困難があるかよくわかった。看護師として DV などのことに、医療従事者だからこそ関わることがあると思った。
- ・女性が DV など自分の困難にも気づけないことがあるので、看護師としてそこを気づいて支援することで今後につながると思う。地域の社会資源を私たちが知ることが大事だと思った。
- ・看護職だから気づけることがあると思う。困っている人に相談窓口などを紹介できることも大事だし、医療従事者として LGBT の方にも配慮ができること、当事者との信頼関係をつくることも大切だと思う。
- ・LGBT のことやコロナ下での困難は、実際に当事者の思いや女性の困難の背景を知ると、医療者だけでは解決できないことが多くあると思う。それを踏まえて、医療者として考えていきたいと思う。
- ・コロナ下の困難や LGBT のことなど学んで、それを実践の場でどのように気づけるかが大事だと思う。
- ・情報として学んでも、具体的に聞く機会があると、知らないことが多いということがわかった。
- ・LGBT の当事者の話を聞いて、医療者として当事者の話をしっかり聞くことが大事だとわかった。DV のことでも、被害者の小さな変化にも気づいて支援できるようにしたいと思った。
- ・コロナ下の貧困やシングルマザーの困難な状況でも、相談する先がなかなかわからないことがある。私たちはこの機会に知ることができたが、機会がない人に医療者として情報提供することも大事だと思った。

◆担当より一言

- ・学生さんの真摯な態度に希望が持てた。
- ・意見交換で、自らの困難を語ってくれた学生がいた。自分事として考えてもらえたと思う。



生きづらさを感じている女性の心とからだのサポート事業 実施報告

～つながることを参加者と共有～

6月 認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 小野由理

令和元年に「ほっと越谷」と「認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう」が共催で実施したサポート事業は、令和2年度は「ほっと越谷」の主催事業となり、ともろうの理事がコーディネーターとして、講座の実施をサポートした。

講座「みて、ふれて、楽しむ、こころとからだのケア」（全2回）

【実施内容】

講師 海原由佳さん（カウンセラー）

対象 テーマに興味のある女性（女性限定）

場所 ほっと越谷 セミナールーム

参加者数 のべ 18 名



カウンセラー、瀬戸内海の島で生まれ、山や田んぼに囲まれて育つ。
2008年、オーストラリアでカウンセリング&ヒューマンサービスの準修士課程修了。
2009年より東京都で女性専門のカウンセリング、暴力被害を体験した女性のサポート、大学のハラスメント相談を行っている。

第1回「絵本の中のわたしと出会う」2021年3月14日（日） 参加者数 11名

前半は、参加者がそれぞれの距離を保ちながら講師を囲む形で座り、講師が1冊の絵本を読み、その本に関連する問いを近くの数人と話し合うということを3回繰り返した。

1 回目の絵本『どうぶつにふくをきせてはいけません』

（ジュディ・バレット文/ロン・バレット絵）

問い＝「動物に洋服を着せたことは？」

「自分の好きな動物に洋服を着せるなら？」

2 回目の絵本『おやすみ、ぼく』

（アンドリュー・ダッド著/エマ・クエイ絵）

問い＝「眠る前にすることは？」

「自分の体にありがとうを言うならどこ？」

3 回目の絵本『なまえのないねこ』（竹下文子著/町田尚子絵）

問い＝「なりたい動物に名前をつけるなら？」

「私が今ほしいものは何？」



後半は、4つのグループに分かれて、各自に配られた A5 判のノートに、前半の絵本について、自分の感想を書いた。また、そのノートの表紙を、会場内に用意した雑誌の切り抜きや色紙、マスキングテープなどを使って飾る作業をした。最後に各自が作成したノートの表紙を見せて、一言感想を言い合った。

【参加者の感想】

- ・絵本を読んでもらって、絵本への思いを新たにしました。
- ・絵本に触れて優しい気持ちになれた。
- ・心が洗われた。
- ・いろいろな価値観があっていいのだと改めて感じた。
- ・久しぶりの感覚でなぜか泣きたくなった。
- ・心ががちがちだったことに気づいた。



第2回「つながりのアート」3月21日（日） 参加者数 7名

前半は、2つのグループに分かれて、机の上に用意されたA6判（通常の書類サイズA4判の4分の1）の紙に、各自が一筆書きの線を入れ、右隣りの人にその紙を渡して何か線を加えてもらい、自分のところに戻ってきた紙を見て何かをイメージして絵を完成させるということを2回実施。

2枚の絵ができるので、気に入った1枚を選んで、それに色を付けて絵を完成させた。

後半は、グループで1枚の模造紙を囲み、完成させた各自の1枚の絵を模造紙の四隅の一角を自分のエリアと決めてそこに置き、会場内のテーブルに置いてある、ビーズ・毛糸・貝殻・紙・モール・シール・花びらなどを自由に使って、自分のエリアを自分にとって気持ちのよい空間にした。模造紙の四隅が各自の空間になったところで、模造紙全体を町に見立てて、町のシンボルをグループ内で決め、そのシンボルを中心にして、それぞれの空間からどのように中心や周辺の方々につながっていくかを、リボンや紐、シールなどを使って表現していった。

最後に、2つのグループが出来上がった町をお互いに見て、どのような思いで作成したのかを説明した。



【参加者の感想】

- ・4人で一緒に考え、よい街にと意見を出し合い形にした。楽しく作る喜びを味わった。
- ・自分らしく生きていいと再確認できた。楽しんでアートに触れることができた。
- ・最初は不安だったが、最後はみなさんと繋がれて楽しかった。
- ・自由に自分の意見を言えるのは素晴らしいことだと思う。
- ・楽しかった。心が癒された。



【担当者のコメント】

- ・3月の2日間の実施は、緊急事態宣言の中で行われたが、実際に会うこと、一緒に作業できたことがよかった。
- ・参加者が最初は緊張している様子があったが、読み聞かせやノートを作る作業をすすめる過程で、だんだん穏やかな気持ちになっていくのがわかった。
- ・2回目に参加者から「つながる」ことを実感したという言葉が多く聞かれた。短い時間だが、安心して人とつながれる感覚を持ってもらえたことは、この講座の目的を果たした思いがした。
- ・講座の最後に「ゆったりカフェ」の紹介をし、今後もうつながる場所を案内することができた。

※「第4次越谷市男女共同参画計画」（2021年3月策定）で新規事業となった「困難を抱える女性を支援するための事業」は、「生きづらさを感じている女性の心とからだのサポート事業」が計画内に組み込まれたものである。

2019 年度 ともろうカフェ「公文書とは? モリカケ、サクラと公文書管理法」報告

6 月 認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 小野由理

実施日 令和2年7月18日(土)
会場 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
講師 小川千代子さん(アーキビスト)
参加者数 28 人



(注) アーキビスト 文書館史料の制御、整備、貯蔵、保存及び管理にかかわるあらゆる事柄に関わる者をいう。(参照『アーカイブ辞典』小川千代子他編 大阪大学出版会 2003)



【ともろうカフェ 参加者の感想】

- ・現在、学校図書館に勤務しています。資料を保管するという側面から、法律等について詳しく教えていただけて満足です。
- ・公文書のあり方について、さまざまな視点を提示いただいて、勉強になりました。
- ・切り込んだ内容で、公文書管理は民主主義の根幹の問題だと思いました。
- ・公文書の扱いに疑問と怒りを持っていた。メディアの意識も低いと思います。
- ・新型コロナの専門家会議でも議事録が残されなかったことを知り、残念に思いました。のちの検証に耐えられる会議をしていたのか等、知りたいと思いました。

第 65 回国連女性の地位委員会(CSW65)報告

認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 青木玲子



2020 年 3 月、ニューヨーク行きの準備を重ねて、荷物もまとめた出発間際に連絡が入った。3 月 9 日、CSW64 は規模縮小で開催、直ちに終了した。11 日、WHO が COVID-19 のパンデミック宣言をした。それからアッと言う間の一年が過ぎた。この一年、COVID-19 による女性と少女への影響が大きく、私たちが経験したことがないような、ジェンダー差別的な危機が伝えられた。

2021 年、国連は、早期に CSW65 のバーチャル会議開催(3 月 15 日～3 月 23 日)を発表した。確かに、バーチャル方式を取ってやらざるを得ない、旅費もかからず、家に居ながら会議を自由に選んで参加できる。デジタル時代の夜明けだと興味もあった。

私が所属する JAWW(日本女性監視機構)は、例年通り政府代表部、NGO と共催する国連のサイドイベントの参加を申し込んだ。毎年 CSW と同時期に女性団体(NGOCSW/NY)が国連外で開催するパラレルイベントもバーチャル開催となつて、巨大なプラットフォームが設定された。私は、さらに 2 つのパラレルイベントにも関わることになった。パラレルイベントには、世界中から 700 の団体が多様なテーマでイベントを企画した。確かに参加者は世界中から、また講師も Zoom であれば国を選ばない。しかし、トライしてみると、大きな障害は時差。開催期間中は一日中 PC の前に座って、接続にドキドキ、英語に悪戦苦闘の日々をなにはともあれ無事に終わった。

CSW65 の開会にあたって、グテーレス国連事務総長とブムズィレ・ムランボ＝ヌクカ UN Women 事務局長は、コロナ禍における女性の困難さを述べている。事務総長は、「コロナ禍は女性の顔をしている。女性は医療従事者の 70 %。女性のほうが男性より 24 %多く失業し、50 %以上収入が減少。オンライン、オフラインの性的暴力、児童虐待、児童婚が世界中で増加している。今こそ、変革が必要。女性が平等に参加することで、チェンジメーカーになる。女性のリーダーシップや女性団体の活躍が平和や気候変動に期待される。」と開会式で述べている。グテーレス事務総長は就任して初めての CSW61 開会式で、「私は、フェミニストである」と述べて、私も会場で拍手喝采したのを覚えている。彼は任期 5 年で、国連の女性管理職を 50%にすると宣言、なんとすでにその目標を達成したと言う。

「女性は公的領域から排除されている。議員は 4 分の 1、地域のリーダーの 3 分の 1、閣僚は 5 分の 1 しかない。現在、女性の首相がいるのは 25 カ国のみ。130 年間、男性が同じような決定をしてきた。このような不平等な状況では、ジェンダー平等になるのは、2150 年と試算されている。」とも述べている。この目標達成は、組織トップの強い意志とポジティブアクション

の成果であると思う。CSW65 で取り組むべき優先テーマは、「ジェンダー平等とすべての女性・少女 女児 のエンパワーメントを達成するための公共生活への女性の完全で 効果的な参加と意思決定及び暴力の根絶」である。ジェンダーギャップが、141 位の日本にとって、公的領域の格差是正は、もっとも重要なテーマである。

CSW65、今回のサイドイベント「必要なのは女性の政治リーダー！～よりよい社会と強靱な民主主義に向けて」は、2021 年 3 月 22 日（月） 19:00-20:15（日本時間）オンラインにより、国連日本政府代表部、JAWW（日本女性監視機構）、国連 NGO 国内女性委員会、国際婦人年連絡会共催、WPL（Women Political Leaders）後援で開催された。

当日の視聴者数は 88 か国 300 名余。

モデレーターを三浦まりさん（上智大学教授／（一社）パリテ・アカデミー共同代表）に依頼、三浦さんは、研究者としても、このテーマでは多くの活動とロビーイングの実績がある。今回、運営を主担した JAWW は、「公的領域」、「参加」、「意思決定」のキーワードを拾い、COVID-19 パンデミックにより女性のリーダーシップの重要性が注目される中、女性の政治指導者や専門家から女性の意思決定への参加を加速するための戦略がいかに実践されているかの議論へと絞り込んだ。

丸川珠代内閣府特命担当大臣（男女共同参画）のビデオメッセージでプログラムを始めたが、スピーカーの Zuraida Binti Kamaruddin 大臣（マレーシア）、Golriz Ghahraman 議員（ニュージーランド）、Inter-Parliamentary Union（IPU）のジェンダーパートナーシップ・プログラム担当 Zeina Hiral 氏の 3 名は、いずれもこの領域で世界をリードする機関と国からの発表で、三浦さんがグローバルなネットワークでお願いした方たちである。NY ではなかなか、お願いできない国々からの参加は、今回のバーチャルイベントのもっとも有効的な側面であった。国連への参加登録、講師交渉、関係省庁、各機関との連携 ウェビナー契約や録画、PC 環境の整備など運営の苦労話はきりがなく続くが、88 か国から参加者があったことを聞いて、この企画の成功を運営メンバーと喜びあった。

CSW65 関係資料及び情報

1 2021 年 3 月 CSW65 記録

<https://www.unwomen.org/en/csw/csw65-2021>

2 CSW65 日本政府(内閣府)の報告 丸川大臣一般討論ステートメント

https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_csw/chii65-g_3.html

3 サイドイベントの記録、JAWW(日本女性監視機構)のサイト「お知らせ」

<https://www.jaww.info/>

「お知らせ」の内容①当日の動画(国連 WEB TV)②当日の資料

③ダウンロードできる日本語の報告書④日本語報告書(500 円)の申し込み方法

4 パラレルイベント

男女共同参画と災害復興ネットワーク主催「リスク・ガバナンスとレジリエンス構築のためのフェミニスト視点に立った意思決定に向けて」 日本のパネリストの他、CARE オーストラリア、UNFPA アフガニスタン、スリランカのアジア太平洋地域防災女性グループの代表などもパネリストとして参加 <https://jwndrr.org/allnews/report/1671/>



生きづらさを抱えた女性の支援事業 「ゆったりカフェ」 報告

認定NPO法人男女共同参画こしがやと tomorrow 理事 坂本雅子

令和2年度は、4月から令和3年3月まで6回開催しました。
コロナ禍により開催時間を1時間とし、13時30分から14時30分へと短縮しました。

◎参加総数：38名

◎参加動機：ほっと越谷のチラシを見た。ほっと越谷のホームページで知った。
ほっと越谷の講座がきっかけとなった。

◎参加しての感想：自分の話が静かな中でできて、黙って人の話を聴く体験が新鮮だった。
話を聴くことがすべての始まりになると思った。

令和3年度「ゆったりカフェ」は、tomorrow継続事業として、一人ひとりを大切にして、
安心安全な中で、“話す”“聴く”場を広げていきます。

2021年度
ゆったりカフェ
へどーぞ

話したり 聴いたり
気持ち軽くなる
聴いてもらったりすると

ゆったりカフェは、安心安全の場となるよう、4つの約束をしています。

- 1 お互いを尊重する
- 2 相手の話をよく聴く
- 3 相手を非難しない
- 4 発言しなくてもいい

2021年の開催日								2022年の開催日		
5/22 (土)	6/26 (土)	7/24 (土)	8/28 (土)	9/25 (土)	10/23 (土)	11/27 (土)	12/25 (土)	1/22 (土)	2/26 (土)	3/26 (土)

場所 越谷市男女共同参画支援センター
「ほっと越谷」セミナールーム 北越谷駅東口徒歩1分

開催時間 13:30~14:30 対象 女性

参加費 無料

申込みは不要です

・マスクを着用して参加してください
・飲み物はご持参ください

主催 特定非営利活動法人
男女共同参画こしがやと tomorrow

問合せ 080-3246-3540
Eメール tomorou@hot-koshigaya.jp

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」利用のお知らせ

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」 所長 松岡 年

埼玉県のみん延防止等重点措置の期間が令和3年(2021年)7月11日(日曜日)まで延長となりました。

越谷市は6月20日(日曜日)をもって、まん延防止等重点措置の対象区域から外れましたが、越谷市では、引き続き、感染防止対策が必要な状況であることから、埼玉県からの協力要請を踏まえ、6月21日(月曜日)から7月11日(日曜日)まで、市主催事業及び市施設等の取扱いについて次のとおりとしました。

①市主催事業については、原則として、徹底した感染防止対策を講じることを条件に再開する。

②屋内施設及び屋外施設について閉館時間を午後9時とする。

そこで「ほっと越谷」は徹底した感染防止対策を講じ、利用時間を以下の通りとしました。

期間 令和3年6月22日(火)～令和3年7月11日(日)まで

開所時間:火～土曜日 午前9時から午後9時まで

日曜日 午前9時から午後5時まで

(12時15分～12時45分、17時15分～17時45分は、所内の換気・消毒)

*** 徹底した感染防止対策を講じて、第20回七夕フェスタは、開催いたします。**

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

◆来所者の方へお願い

- ・発熱等のかぜの症状があるときや体調がすぐれない場合は、来所を控えてください。
- ・マスクを着用し、咳エチケットを徹底してください。
- ・来所者カード、利用者名簿のご記入をお願いします。
- ・来所時に手指の消毒をしてください。
- ・密閉空間、密集場所、密接場面の3つの条件になるような利用は避けてください。
- ・施設内での飲食はご遠慮ください。

◆セミナールームご利用の方へのお願い

セミナールームの利用は、通常どおりとなっています。

- ・収容定員以内の人数で、密にならない程度の距離を確保できるよう利用をお願いしています。
- ただし、大声で歓声・声援等が想定される利用の場合は、収容定員の半分以下でのご利用をお願いしています。



●「ほっと越谷」からのお知らせ～「ほっと越谷」開設 20 周年記念●

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」開設 20 周年記念事業
誰もが暮らしやすい越谷へ

日時 令和 3 年 7 月 3 日(土)13:00～16:30(開場 12:30)

会場 越谷市中央市民会館劇場

主催 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

共催 セタフェスタ実行委員会/越谷市人権・男女共同参画推進課

★開設 20 周年記念事業★

7/3 **土** **13:00～16:30**

会場：越谷市中央市民会館劇場

式典 13:00～13:30

□セタフェスタ実行委員長辻純志郎さんあいさつ/
高橋努市長あいさつ/初代所長青木玲子さんのお話

第 1 部 分科会発表 13:30～14:30

□登録団体が 4 つの分科会に分かれて活動を発表

第 2 部 パネルディスカッション 14:40～15:45

□「誰もが暮らしやすい越谷を考える」

ミニコンサート 16:00～16:20

□「VIVA O サンバ！」

演奏：シマとワルたち

サンバの名曲を演奏します！



●「ほっと越谷」からのお知らせ～「七タフェスタ」●「ほっと越谷」交流コーナーで展示中



昨年の七タフェスタは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。
 今年度は七タフェスタオープニングイベントは中止になりましたが、
 6/22（火）～7/7（水）展示
 6/27（日）～7/7（水）講座の予定で行われます。
 7/3（土）は「ほっと越谷」開設 20 周年記念が越谷市中央市民会館劇場で行われます。
 ぜひ、お越しください。
 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://hot-koshigaya.jp>

★正・賛助会員になって活動を支えてください！

正会員 年額 10,000 円 賛助会員 年額 一口 2,000 円

郵便振替口座 00120-1-447817

加入者名 NPO法人男女共同参画 こしがやともろう

●寄附のみも受け付けております

男女共同参画こしがやともろうは認定NPO法人です。

ご寄付は税金の控除を受けることができます。

（ 発行 ・ お問い合わせ ）

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう

〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷 2-21-8

電話	080-3246-3540
Eメール	tomorou@hot-koshigaya.jp
ウェブサイト	https://koshigaya-tomorou.or.jp